

シンポジウム

[SY2] 質の高い家族看護実践へのチャレンジ

企画:林 みよ子 (静岡県立大学)

[企画趣旨]質の高い家族看護実践へのチャレンジ

林 みよ子¹ (1. 静岡県立大学)

キーワード: 家族看護

近年の社会構造や医療制度改革から、クリティカルケア領域の看護師には、病院内での救命・集中治療にとどまらず、多くの役割が期待されており、次世代を担う看護師には、より高い看護実践能力が求められていると言える。

中でも、重症あるいは重篤な状態にある患者の家族に対しては、限られた情報から家族を捉えて、必要な介入を判断し、緊迫した状況下で対人関係を気づき、彼らの意思を尊重して適した方法で実践しなければならず、高度で専門的な知識や技術だけでなく、総合的な能力を必要とする。

そこで、本シンポジウムでは、大学教員、急性重症患者看護専門看護師、家族支援専門看護師から貴重な実践や体験をご発言いただき、次世代を担う看護学生あるいは若手看護師が、クリティカルケア領域においてより質の高い家族看護を実践できるようになるために、看護基礎教育及び医療現場においてどのような知識・技術・態度を育成する必要があるのか模索したい。